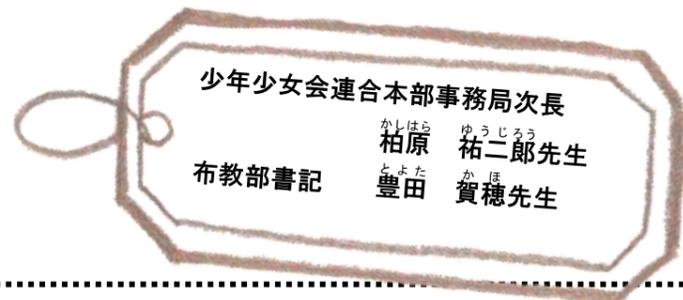




金光図書館は
あなたのサポーターです。



KONKO Library
〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷 320
☎0865-42-2054 fax0865-42-3134
✉konko-library@konkokyo.or.jp
🌐http://www.konkokyo.or.jp/konko-library
📱http://ameblo.jp/konko-kyouco/



布教部書記
豊田賀穂先生（呉東教会）



『ともだちや』
内田麟太郎・作 降矢なな・絵
偕成社



幼い頃の私は、文字がたくさんの本を読むのが苦手でしたが、絵本だけは読むことが大好きでした。特に幼稚園年長の頃には本当にたくさんの絵本に出会いました。当時の私は引越したばかりで、はじめの方は新たな環境に戸惑い、クラスの子に話しかけるのもおっくうになっていたようです。

そんな私が出会ったのが、『ともだちや』という1冊の絵本でした。この絵本のなかに、キツネさんのひとことに怒るオオカミさん、そして勇気を振り絞って「あしたもきていいの」と聞くキツネさん。「あさってもな」というひと言とそのあと友達の証として大事なものをくれたオオカミさん、と少し省略していますが、そのような場面があります。そんな内容が、当時の私の背中を押してくれたように感じた記憶が今も頭の片隅にあります。

そして小学校に上がってから改めて読み返してみると、幼稚園児では感じなかった事に、気付いたりもしていきました。さらにシリーズが増えていくと、毎回毎回の「ともだち（キツネさんとオオカミさん）」のやりとりで、「ありがとう」「ごめんなさい」をちゃんと相手に伝えることや私自身いつもどんな時もそばにいてくれた大切な「ともだち」の存在に気付いたり、「こころ」があるから、かなしい感情もうれしい感情もあるというような、大切な事をたくさん教えてもらったように思います。その時その時で、毎回とっていいほど新しいことに気付かせてくれる、私にとってそんな作品です。

またこの絵本は、読み手が視覚的にも楽しめるような表現がたくさん隠れています。この作品に限らず絵本は、私にとって本当にさまざま視点から物を見る目も養わせてくれるものだと思います。絵本＝子どもというイメージが少しあった私ですが、大人になっても新しいことに気付かせてもらえる絵本は、みなさんにもぜひあらためて読んでほしいです。

シリーズで「ともだちくるかな」「あしたもともだち」「ごめんねともだち」があります。

本との出会



『かがみのえほん
きょうのおやつ』
わたなべちなつ・さく
福音館書店



『ぼくのおじいちゃんのかお』
天野祐吉・著 沼田早苗・写真
福音館書店



少年少女会連合本部事務局次長
柏原祐二郎先生（中庄教会）

読書が苦手だった私ですが、子どもを授かってから、まずは絵本からということで、読み聞かせをするようになりました。

これまで子どもと一緒に色々な絵本を読ませてもらいましたが、絵本は子どもより大人が考えさせられたり、気付かされたりすることが多いように思います。

この度は、面白く、インパクトが強かった本を2冊ほど紹介したいと思います。

①「かがみのえほん きょうのおやつは」

本を90度で向き合うところまで開いて読む絵本で、かがみに絵が映って立体的に見える仕組みです。昔からあった仕掛け絵本なのか分かりませんが、子どもより私が感心して見とれてしまう絵本です。絵本の中の一人分のおやつが鏡で二人分になるのが面白く、鏡の仕組みを知る本だと思います。

②ぼくのおじいちゃんのかお

ひとりのおじいさんの顔のアップだけの絵本です。笑う顔、遠くを見る顔、聞こえないフリをする顔など、表情豊かなおじいさんの写真の絵本です。モノクロのおじいさんの顔のアップの写真なので、最初は見ると少し怖がっていた息子も、表情の面白さや豊かさに気づいたのか、じっくりと見るようになりました。色々な表情が勉強になる本だと思います。

今回は柏原先生・豊田先生が
おすすめの本をご紹介します。



金光図書館の2階職員に
インタビューしてみました。
普段どんなことを
しているのですか？



雑誌を閲覧・貸出・保存できるように、
コンピュータ入力しています。
メディアで取り上げられているトピック
スや人物などからも検索できるように、利
用者さんのニーズをデータに反映してい
けるような入力を心がけています。

みなさんが日頃、気になっておられる
テーマやキーワードなどありましたら
ぜひお聞かせください。



雑 誌

金光教図書
各教会から出された本、
本部各機関から出された出版物



各教会からご寄贈いただいた記念誌や偲草、金光教本部や
各機関が出版した図書を貸出できるように整理しています。

金光教図書の保存は、この図書館の大切な役割だと思っています。

本をつくられましたら、ぜひ**4部以上**の寄贈をお願い申し上げます。
教話の本でしたら音訳や点訳にもさせていただきます。

「初代教会長のことが知りたい」「金光教の死生観は今までどのように言わ
れてきているのか」など、利用者が求める情報を、検索によって探せること、
それもできるだけ複数の資料を提示できるように入力をしています。

カウンター

本やCD、DVDの貸出返却の他に、調べもののお手伝いをします。
図書館の資料の中から自分が知りたいことを探し出すことは大変です。
どの資料から調べればいいのかわからない、そんな時、私たち図書館職員が
お手伝いします。

また、金光図書館にある資料だけではわからない時は、他の図書館から
取り寄せたり、調べものをお願いしたりすることもできます。
みなさんと一番最初にお会いしたり、対応するのはこの5人のメンバー
だと思います。どうぞお気軽におたずねください。

